

tetteによせるメッセージ

三矢勝司さん
NPO法人岡崎まち育て
センター・リた 事務局次長



公共施設はえてして「あれもダメ、これもダメ」になりがちです。tetteでの人々の出会いが「あれもやってみよう！これもやってみよう！」といった挑戦的な活動を生み、施設内外で展開されることを期待しています。

町田功実江さん
tetteパートナーズクラブ



緑あって管理運営委員会に携わらせて頂き市民と共に須賀川らしいtetteを作っていくとする職員、関係者の皆様の熱意を強く感じました。これからも互いに手を取り協働し、私達の様々な希望や計画を柔軟に受け止めて下さる事を願います。

今野聡子さん
須賀川市立第三小学校
tetteパートナーズクラブ



楽しい企画を色々やってみたくて、tetteパートナーズクラブに入りました。例えば、テラスの花壇を畑にして野菜を育てて料理教室をしてみたい。3階のラウンジは本棚に囲まれていて落ちつくから好き。新しい図書館になって嬉しいです。

ATSUSHIさん
Dragon Ash
ダンサー



須賀川市民交流センターtetteが須賀川の皆さんにとって、心の安らぐ場所、シンボルとなり、共に、成長していく事を願っています。須賀川の皆さんにまたお会いできるのを楽しみにしていますね。

伊東直登さん
松本大学図書館長
元塩尻市市民交流センター長



開館1年前に呼んでいただき、図書館をつくるのは市民の皆さん、という話をさせていただきました。開館初日、すでに多くの皆さんが活動するご様子に、tetteの成功を確信しました。ますますのご健闘をお祈りしております。

川崎興太さん
福島大学共生システム理工学類
准教授



建築設計者の選定から管理運営の検討まで、市民や市役所の方々と議論を重ねてきましたが、使ってみて初めて気がつくことがあると思います。改善を重ね、須賀川の豊かな暮らしと復興を牽引する場所として、tetteを育み続けてください。

田母神風香さん
須賀川市立第一小学校
tetteパートナーズクラブ



tetteパートナーズクラブに入ったのは、誰かのために役にたちたかったのと、いろんな人にtetteを楽しんでもらいたくて。ボランティアは初めてですが周りの人達が優しく教えてくれます。私もそんな人になれるように頑張りたいです。

ドミニク・コルビさん
フレンチ料理 Dominique Corby
ディレクター・ジェネラル



須賀川では、沢山の生産者さんの畑を訪れて、食材に出会い、感動しました。東京に帰った後も、須賀川の素晴らしい野菜を毎日使っています。これからも須賀川の応援をしていきたいです！、tetteのキッチンスペースにも呼んでください！

手塚美希さん
紫波町図書館
主任司書



開館おめでとうございます。緑の下の方たちとして尽力されてきた皆さんに心より敬意を表します。tetteが、「知」と「人」が縦横無尽に行き交い、これからの須賀川の未来に欠かせないエンジンとなりますように。

安藤一輝さん
福島大学
tetteパートナーズクラブ



tetteは、これからの須賀川を活性化させる大きな可能性を秘めていると思います。私は、tetteパートナーズクラブの一員として、その可能性を広げる一助になれるよう今後の活動に参加していきたいと考えております。

平間至さん
写真家



須賀川の皆さんとロックフェスをつくることを一緒に考えたことがとても楽しかったです。tetteができたことで、新たな活動や広がりができることを心より楽しみにしています。

岩崎里美さん
フェッラゴースト
オーナーシェフ



コルビシェフのアシスタントでワークショップに参加して、地元の生産者が作る食材の変化や市民の皆さんとの話し合いが刺激的でした。tetteから発信される優しさや思いが須賀川を越えて繋がり続けるように、私も一緒に育てていきたいです。

水代優さん
グッドモーニング株式会社
代表取締役



ここで生まれる、モノとコトが須賀川の皆さんの1番の財産になると確信しております。偶然、必然の交流を経て、須賀川から世界へ飛び出しているんな事に出会えるすごい武器を手にした皆さんのプロジェクトの発展を心より祈願します。

NAOTOさん
ヴァイオリニスト・
作曲曲家



tetteイメージ曲「Thank you for your smile」は、子どももお年寄りも来る場所なので、「ここに来たら何か楽しいね」と思ってもらえるような、聴き馴染みやすい曲を意識して作曲しました。いつまでも素敵な場所でありますように。

後藤法子さん
脚本家



オープンおめでとうございます。人がふらりと立ち寄って集える場所は、その地の大きな財産だと思います。沢山の人が集まり、多様な想いを共有し、ほっと息つける場所となりますように。帰省の時に何うことを楽しみにしています。

円谷誠さん
大東屋珈琲店
店主



街の中にマチができた、という喜びで、tetteをみています。商業と人口のドーナツ化を肌身に感じてウン十年、tetteが放つ人と光の輪に連動して、我々専門店も異なった色の輪をそれぞれが放ち、ふるさとの街になりたいです。

tetteができるまで、さまざまなプロジェクトに関わってくださった方々から届いた嬉しい、お祝いのメッセージです

大谷賢治郎さん
演出家



コミュニティに生きる、世代を超えた様々な人々の笑い声が響き渡る、新しいコミュニケーションの「場」。そこで新しいオトとコトバをともに紡ぐ「オトコトバツクリ」を須賀川の皆さんと一緒に出来る日を楽しみにしております。

酒井ゆうじさん
(有) 酒井ゆうじ造型工房
原型師



長い道のりであった円谷英二ミュージアムが完成しオープンの日を迎えることができ、今は肩の荷が下りてホッとしています。tetteと円谷英二ミュージアムが市民の拠点として愛され、文化の発信の場となる事を願っています。

吉田有希さん
本と雑貨とデザインの店
「design company」



とても素敵な施設が須賀川にできたこと嬉しく思います！tetteを活用し価値のあるコミュニティを創造し続けてこそ意味のあることだと思しますので、皆で活用方法を考えていきたいと思います！

猪谷千香さん
文筆家



多くの人が学校や職場、家庭でそれぞれ役割を担っていると思います。そうした属性から解かれた居心地の良い「サードプレイス」が今、社会で求められています。須賀川市にとってのtetteもそうした場になりますように。

青柳拓次さん
音楽家



偶然、車のラジオからtetteについて語る佐久間室長の声。ついにオープンしたんだ！と嬉しくなりました。これからも、tetteから生まれる物語に耳を澄ませて行きたいです。開館おめでとうございます。

佐藤正彦さん
須賀川地域コミュニティFM
「ウルトラFM」



街にはシンボルが必要だ。シンボルは「人の心のよりどころ」であり「希望の象徴」。tetteの役割はまさにそれである。そこから発信するこのラジオ局も「街のシンボル」となるように、私も関わるものとして思いを新たにしています。

神山俊一さん
CCGA
現代グラフィックアートセンター



CCGAは現代版画やデザインを紹介する美術館です。版画と言えば須賀川生まれの絵師、亜欧堂田善。tetteが田善をはじめとする須賀川の文化を発信する拠点として、市民の皆さんに活用されることを願っています。

村越としやさん
写真家



沢山のご縁があり市民交流センターPR冊子『すかがわ、めぐるめく』の表紙と裏表紙の撮影に關われたことを本当に嬉しく思います。この先tetteには多く人が訪れ、そして沢山のことを発信出来る場所になる可能性を強く感じています。

すかがわ、めぐるめく 第4号

編集後記



本冊子は、市民交流センターの開館に向けてひとりでも多くのひとに関心をもってもらい利用して頂くために、平成28年の春に刊行されました。あれから3年目の春をもうすぐ迎えます。1号目の表紙撮影に協力してくれた、市内の高校に通うシニアリーダーズクラブのみなさんも、すでに卒業して新しい道を歩んでいます。そうしたかたちで時間の経過を感じる時、かけがえのない「時」を改めて思うのです。そして、平成31年1月11日に開館して、新しい「時」も始まりました。今回は、プロジェクトの軌跡をまとめた最終号になります。ここから新しい扉が開き、未来へ続くページが作られていくことを願っています。(平成31年3月ステイルウオーター)



(左) 雪はギフト。平成30年の年末に村越さんと最後の定点撮影。(右) 飛んだ！自由な遊びをどこまでも。

本冊子について

◎本冊子タイトル「すかがわ、めぐるめく」について「めぐるめく」とは、ここでは「光景が極めて美しいまゝめぐるめく」と「ゝ」になつていくという進行形を表す「〇めく」を合わせた造語。沢山のひとが行き交う須賀川市民交流センターで、「ひと」や「もの」や「ものごと」が巡り、沢山のきらめく光景が生まれる場所になることを願って、このタイトルをつけました。

◎本冊子に描かれたイラスト

「春」(P2)、「おわりの扉をひらいて」(P3)、「みんなでつくる」(P22)。イラストレーターの演愛子さんが、artのこれまでと、これからにはまる未来を想いながら描いてくれました。

◎表紙の写真 1Fの交流スペース「tette通り」 たつぷりと陽射しが差し込むtetteは、チャレンジショップ「Ordinary Coffee」の店主が淹れるコーヒーの香りと共に1日が始まる。物販等ブースは「フリキのかえる」と「ママアンドキッズキュリー」が並ぶ。

発行人：須賀川市民交流センター
企画・編集・制作：株式会社 スティルウォーター
アートディレクション・デザイン：畔柳仁昭（株式会社 サザランド）
深野夏琳（株式会社 サザランド）
イラスト：演愛子
文：大曲智子、スティルウォーター
中面写真：星野有樹
表紙写真：村越としや（写真家）

協力：石本・畝森特定設計共同企業体 / 三井住友・三柏特定建設工事 / 共同企業体アカデミック・リソース・ガイド株式会社
印刷・製本：株式会社 星総合印刷
発行元：福島県須賀川市